



復古絵本絵ばなし集

ほろ出版

昭和期3

ムラエホン

昭和18年 文：塚原健二郎 画：山下大五郎 中央出版協会株式会社刊

ニッポンノアマ

昭和22年 文：平塚武二 画：小山内龍 中央出版協会株式会社刊

昭和18年に出版が開始した『少国民絵文庫』シリーズのうちの2冊。このシリーズは戦後も引き続き出版された。

昭和22年発行の『ニッポンノアマ』は、画家の小山内龍が疎開中に病で亡くなった後に出版された。画家の茂田井武がその日記の中で、この絵本があまりに美しかったので購入したと記している。

パピーのてぶくろ

昭和21年 文・画：高井貞二 文化書院刊

犬のパピーは手袋を拾うがそれが何かわからない。いろいろな犬に尋ねると多分王様のリボンだろうということになり、王さまのところに持って行くが…。

戦後間もない頃に出版された1冊。高井貞二は1954年に渡米し、アメリカで名声を得るが、戦時下は日本で『コドモノクニ』などに絵を描いていた。

象の話

昭和21年 文・画：武井武雄 鈴木仁成堂刊

さるの三ちゃん

昭和22年 文：佐藤義美 画：脇田和 国民図書刊行会刊

ピアノの鍵盤が象の牙であることを知った象が、自分の牙でなんとかいい音を出そうとする『象の話』。

都会に住むさるの三ちゃんのところに、山のさるたちが訪ねてきて、電話やガラスなど見たことのないものにおどろく『さるの三ちゃん』。

どちらも戦後まもなく出版された絵本。戦争中は出版が難しかった平和な内容。

あひるさんとにわとりさん

昭和23年 文：村山篤子 画：村山知義 ニューフレンド社刊

おしゃれうさぎ

昭和23年 文・画：安泰 新世界社刊

仲良しのあひるさんとにわとりさんが主人公の9つのお話が入った『あひるさんとにわとりさん』。

おしゃれを気にするあまり自分の耳をきってしまったうさぎの話をはじめとするいろいろな動物のお話が入った『おしゃれうさぎ』。

どちらも明るく自由な発想で描かれた楽しい絵本。